

## 佳作 桜



ニヤムジャブ オユンジャルガル  
NYAMJAV OYUNJARGAL

国 籍 モンゴル

職 種 介護

実習実施者 社会福祉法人ハynesライフ

監理団体 GTS協同組合

日本に来る前、私は桜をアニメの中でしか見たことがありませんでした。画面の中の桜はとても美しく、どこか遠い世界のもののよう感じていました。しかし実際に見たとき、その美しさは想像以上で、心から感動しました。

介護技能実習生として来て三か月が過ぎたころ、私は春が来るのを楽しみにしていました。同寮の人や日本語の先生は「春は一年で最も素晴らしい季節だ」とよくおっしゃいます。モンゴルにも四季はありますが、桜の木はありません。先生から「桜」という漢字を教えていただいたときの喜びは、今でも忘れられません。

私の働いている施設は、森に囲まれた高山村にあります。アパートから職場まではおよそ8キロあり、毎朝ドライバーの方がアパートの前まで迎えに来てくださり、安全に送ってくれます。通勤途中、「この道沿いの木は春になると満開の桜になる」と教えていただきましたが、そのときの私は「満開」という言葉の意味をまだ理解していませんでした。ある日、先輩が夜桜を見に連れて行ってくれました。暗い中で静かに咲いている桜はと

てもやわらかく、美しく、私はそのとき初めて「満開」という言葉の意味が分かりました。一番満開な桜の木の下で撮った写真は、忘れられない思い出になりました。

二回目の春が来ました。そのとき仕事の日誌に「おばあさんのベッドの位置を変更した」と書いてありました。昼ごろ、そのおばあさんの部屋に入り、職員と一緒に介助をしながらその理由を聞くと、職員は「もうすぐ桜が咲いて、窓からきれいに見えるからです。毎日それをいい思い出として過ごせると思いますと説明してくれました。そう聞いて、私は日常生活の世話をするだけでなく、利用者一人一人に合った心のケアがとても大切だと気づきました。そのおばあさんは歩くことができず毎日ベッドの上で過ごしています。あまり話すことはできませんが目と耳はしっかりしていて、周りのことをよく理解しています。桜が満開になったとき、窓からの景色は本当にきれいでした。そのときおばあさんは本当にうれしそうな表情をしていて目がきらきらと輝いていました。きっとご家族と過ごした時間を思い出していたのだと思います。

桜は短い間だけ咲き、すぐに散ってしまいます。しかし、その短さがあるから、特別で価値のあるものだと感じました。そして今、三回目の春を迎えています。これは日本で過ごす最後の春です。職員たちと一緒に、おじいさんやおばあさんたちと桜を見に行く予定です。私はわくわくしています。これからこの短い人生の中で、誰かの心に残り、あたたかい光を届けられる人になりたいと思っています。